



平成28年度

宇陀市まちづくり活動応援補助金

成果報告書

報告会 日時 平成29年8月31日

午後1時30分～

場所 市役所4階 大会議室



宇陀市企画財政部 まちづくり支援課

平成29年8月



## 「宇陀市まちづくり活動応援補助金」の概要

この補助金は、市民が主役のまちづくり並びに地域の個性を生かしたまちづくりを推進し、市の発展に寄与することを目的として、市内で活動する市民団体が自ら企画立案し、実施する事業に要する経費を補助することにより、市民活動の促進を図ろうとするものです。

補助対象事業は公募方式により募集し、第三者機関（宇陀市まちづくり活動応援補助金審査委員会）による厳正な審査を経て決定します。

## 補助金の額

補助金の額は、補助の対象となる経費の総額から当該事業の実施によって得られる収入を差し引いた額とし、50万円を上限とします。事業が継続して必要と認められる場合は、自立・発展性の観点から2年目は40万円を上限とし、3年目は30万円を上限とします。ただし、算出した額に1,000円未満の端数があるときは、これを切り捨てるものとします。

## 審査・評価の方法

### ①一次審査（書類審査）

補助金の対象事業として要件を満たしているか等の審査を行います。

### ②二次審査（公開プレゼンテーション）

以下の基準に基づき審査し、交付の優先順位を決定します。

新規性	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業内容に新しい発想、アイデアがあるか。</li><li>・自主性をもった企画・運営となっているか。</li></ul>
公益性	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域活動支援の目的と合致しているか。</li><li>・事業の成果が広く地域に還元されるものか。</li><li>・事業参加の機会が広く住民に与えられているか。</li><li>・市の施策と方向性が合致しているか。</li><li>・応募者以外の市民や事業者、団体等に不利益を与えるものではないか。</li></ul>
必要性	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の実情や住民要望に対応したものか。</li><li>・地域の課題解決、あるいは活力向上に有効なものであるか。</li><li>・ほかの方法で代替できないものであるか。</li><li>・経費の使途が適切なものか。</li></ul>
実現性	<ul style="list-style-type: none"><li>・目標（達成すべきこと）が明確なものか。</li><li>・関係者との合意形成や応募団体等の内部での実施態勢が整っているか。</li><li>・資金調達の規模や時期に無理はないか。</li></ul>
発展性	<ul style="list-style-type: none"><li>・市の支援が終了した後の継続性や自立性、発展性は期待できるか。</li></ul>

## 審査委員

氏名	所属・職
反田 博俊	奈良 NPO センター理事長
仲浦 美好	宇陀市食生活改善推進協議会会長
紙谷 尚永	公募委員
東 秀好	奈良県くらし創造部青少年・社会活動推進課
中野 理	宇陀市役所 副市長



# 地産地消の学校給食と地域力向上計画

補助金額  
400,000円

## 宇陀ランチ・プロジェクト

### 補助事業の実施内容

1. 地産地消の学校給食を推進する
2. 遊休農地の体験農園で給食野菜づくり
3. 宇陀の食材を使った食育活動

#### 【事業実施の様子】



### 補助事業の成果と今後の活動に向けて

- ・給食野菜の市価調査(納入価格の適正価格参考値のため)
- ・集荷、給食に納入開始(農家10軒参加)
- ・重点野菜(ジャガイモ・玉ねぎ・ニンジン)の計画栽培
- ・生産者も含めての意見交換会(6回)をしたことで行政や生産者との意思疎通が改善された。
- ・給食野菜の指定納入体制を構築出来たことにより、学校給食の宇陀産野菜地産率が8%程が実現した。
- ・遊休農地活用5aの確保で体験農園が出来る畑を耕作することができる。(三本松)
- ・参加市民には学校給食の野菜作り、収穫・田植え、稲刈り等の体験農園や「くらま大根」の収穫体験などを通して自分たちが作った野菜が給食に登場する画期的な試みとして奈良県下の市町村でも注目を浴びている。
- ・野菜たっぷりジビエカレーや羽釜で炊いた「新米おにぎりパーティー」、漬け物道場「くらま大根からし漬け」、生産者とふれあい授業、ふれあい給食など食育を通して子どもたちが野菜をより身近に感じ、苦手野菜の克服、給食の残食が減り野菜の栽培にも興味が増えた子どもたちが増えた。

#### 事業実施団体

名称	宇陀ランチ・プロジェクト
所在地	宇陀市榛原天満台西1丁目12-7
設立の経緯・目的	平成27年宇陀ひと・まち・しごとづくり委員会も公募委員として議論に参加する経緯から委員会での提案を実現するために有志を募り、宇陀市活性化の一助になる取組を確認してこの団体を平成27年12月10日に設立。
主な活動内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 給食センターと懇談会を開催、団体設立の趣旨を説明し地産地消のより良い学校給食づくりに共に協力を要請する。</li> <li>2. 第1回「大根からし漬け漬物道場」を開催、羽釜ご飯に味噌汁とからし漬けと簡素ではあるが、防腐剤など添加物を含まない本物の味覚を味わい、地産地消の学校給食の重要性と取組の推進を確認</li> <li>3. 宇陀市の野菜価格調査を実施</li> <li>4. 宇陀ランチ・プロジェクトNEWS発行・配布</li> </ol>



# 沢城跡の整備と高山右近の顕彰

補助金額  
400,000円

## 大和宇陀高山右近の会

### 補助事業の実施内容

1. 大阪文学振興会が右近碑の見学
2. 右近こどもまつり
3. 右近碑前観光看板設置
4. 沢城跡草刈り
5. 「キリシタン大名高山右近」学習会

### 【事業実施の様子】



### 補助事業の成果と今後の活動に向けて

昭和43年に故大門貞夫氏が中心となり高山右近顕彰委員会を立ち上げ『高山右近洗礼の地』の顕彰碑の建立や「右近こどもまつり」が始められたが、時間の経過と共に地域住民の間では、右近の歴史的意義が薄れていったが、行事を進めていく中で多くの方に興味を持っていただけ、「少年右近像」の建立に繋がっていった。

沢城跡の案内看板を見て訪れるハイカーも増え、宇陀市観光ボランティアガイドの会の研修場所にも役立っている。

今後の課題として、「右近こどもまつり」継続と沢城跡の整備や「右近碑」を訪問される方の駐車場の確保が課題となる。

### 事業実施団体

名称	大和宇陀高山右近の会
所在地	宇陀市榛原大貝352番地
設立の経緯・目的	昭和44年当時の榛原町において、榛原町明治百年記念が実施され史跡保存と顕彰を進めることが決定された。伊那佐地区においては、元伊那佐郵便局局長大門貞夫氏が中心となり沢城跡整備と沢城において洗礼を受けた高山右近について顕彰を広めると共に顕彰碑を建立することになった。
主な活動内容	1. 史跡等の文化財の顕彰に関わる事業を行う。 2. 高山右近の顕彰並びに高山右近碑周辺の整備を行う。 3. 「右近こどもまつり」を実施する。 4. 沢城跡の顕彰並びに整備事業の推進を行う。 5. 高山右近像を有志の寄付により建立する。



# 米ぬかで地域再生プロジェクト

補助金額  
285,000円

大王地区まちづくり協議会

## 補助事業の実施内容

1. 業務用オーブンの購入(設置場所: 榛原農林会館)
2. Face bookの開設
3. イベントへの出店(大王地区体育祭・わが地域じまん祭)(奥大和ゆうゆう祭)(うだ産フェスタ)

### 【事業実施の様子】



## 補助事業の成果と今後の活動に向けて

- ・業務用オーブンを購入したことで、焼きムラが無くなりこんがり焼き上がる様になった。また、容量が大きくなった分調理回数が減った。
- ・Face bookの開設で
  - ・米ぬかには玄米が持つ栄養素の90%以上が含まれていること。
  - ・栄養価の高い米ぬかを『食材』とし手軽に美味しいお菓子である。
 など米ぬかを使った商品紹介のほか、市内外へ出店情報を掲載し拡散できた。
- ・大王地域で生産された米を精米する際に出る米ぬかを使うことで、地域への愛着を深め大王地域の魅力をPRできた。
- ・課題・・・製造場所の確保が必要 ⇒ 地域で時間のある若年世代を中心に製造・イベント等での販売 ⇒ 製造場所を中心とした憩いの場を創出していきたい。

### 事業実施団体

名称	米ぬかで地域再生プロジェクト
所在地	宇陀市榛原下井足825番地
設立の経緯・目的	大王地区の住民相互の交流と親睦を図り、共通の利益の増進、生活環境の保持・改善に努力し、文化・福祉の向上と豊かで住みやすい地域づくりに寄与することを目的として、大王地区まちづくり協議会設立検討委員会での検討を経て、平成27年7月5日に設立した。
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災、防犯、交通安全等に関する事業</li> <li>・福祉、健康づくり、子育て支援、教育等に関する事業</li> <li>・環境美化、環境保全等に関する事業</li> <li>・住環境整備等に関する事業</li> <li>・歴史、文化、伝統継承等に関する事業</li> <li>・産業振興等に関する事業</li> <li>・地区住民の交流又は連帯等に関する事業</li> <li>・地区の団体育成等に関する事業</li> <li>・地域計画の策定等に関する事業</li> <li>・その他地域づくり等に関する事業</li> </ul>



# 三本松地域活性化 町並みにぎわい事業 【継続2年目】

補助金額  
400,000円

三本松まちづくり協議会

## 補助事業の実施内容

1. 役員会(事業内容の確認と進め方協議)
2. マスコットキャラクターの決定 名称を『さんちゃん』と命名
3. 歴史散策ウォーキング開催 参加者130名
4. 散策マップの増刷(13000部)
5. 総合案内板設置(三代目「三本松」横)・案内板設置(「海神社→」・「三本松まちづくり協議会」)
6. 案内板設置(「海神社→」・「三本松まちづくり協議会」)

### 【事業実施の様子】



## 補助事業の成果と今後の活動に向けて

- ・マスコットキャラクター『さんちゃん』の旗を作成し、各種行事で住民のイメージアップにつながっており、子どもたちにも人気がある。マップにも「さんちゃん」を掲載
- ・歴史散策ウォーキング開催(11月26日実施、参加者130人)  
住民の定点ガイドが好評で、『近くにいながら、意外と知らない箇所があった』など感想がある。
- ・総合案内板設置事業では、三本松の観光案内に役立っている。
- ・案内板は2年間で8カ所設置(主要箇所の設置を終了)
- ・散策マップ増刷をし、今後もマップを活用しながら地域のPRや色々なイベント企画をしていく。

### 事業実施団体

名称	三本松まちづくり協議会
所在地	宇陀市室生三本松2091番地
設立の経緯・目的	平成26年2月にまちづくり協議会を設立し、三本松地区の住民相互の交流と親睦を図り、歴史・文化・伝承継承・福祉の向上と豊かで住みやすい地域づくりに寄与することを目的としている。
主な活動内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 道の駅を中心とし地域コミュニティの拡大に向けた活動</li> <li>2. 自主防災活動</li> <li>3. 見守り・声かけサポート運動</li> <li>4. 市道・里道等の環境美化活動</li> <li>5. 伝承継承で神社、寺等での行事への支援広報活動</li> <li>6. 住民の交流では、ふれあい夏祭り・運動会・敬老会の開催</li> <li>7. 地域計画の策定に伴う事業</li> </ol>

# 平和の杜をつくる整備事業 【継続2年目】

補助金額  
300,000円

平和の杜をつくる会

## 補助事業の実施内容

1. 雑木の伐採、整備、草刈り作業
2. 遊歩道の設置、整備
3. 砕石散布

### 【事業実施の様子】



## 補助事業の成果と今後の活動に向けて

遊歩道の設置をし、ツツジ、しだれ桜、さつきの植樹をした結果、景観が良くなりツツジ等が根付き花が咲いた。数年後には、この場所がツツジの名所、桜の名所となり平和公園となることを祈り開花を期待しています。

整備等を継続していくことで、戦争を風化させない平和記念の場所となり戦没者に対する追悼意識の向上、子どもたちの平和教育の場、市民の安らぎの場所として後世に伝えていく。

### 事業実施団体

名称	平和の杜をつくる会
所在地	宇陀市室生大野1363-10番地
設立の経緯・目的	この場所を今まで以上に整備し、今に生きる私たちが平和の杜として後世に伝え、歴史公園として、また憩いの場として保存していくことを目的として設立。
主な活動内容	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 雑木の伐採</li><li>2. 草刈清掃</li><li>3. 遊歩道の設置</li><li>4. 広場の整備（砕石散布）</li><li>5. 桜苗木の植樹</li><li>6. 平和教育の実施</li></ol>



**補助事業の実施内容**

1. 公園及び周辺の樹木の剪定・草刈・清掃を実施、広場に休息用のゴーヤのパーゴラ設置
2. 隣接道路の草刈清掃を実施
3. 収穫祭用の野菜(さつまいも)植え付けと収穫
4. 公園周辺の石垣に沿ってネットを張り、朝顔を植えた。
5. 菜園・花壇等の整備完了
6. 秋に収穫祭を開催(子どもを対象に芋掘り大会および無料で石焼き芋の振る舞い)  
参加者総数57名(うち子ども23名)

**【事業実施の様子】**



**補助事業の成果と今後の活動に向けて**

- ・周辺環境が改善され、花壇の整備ではきれいになったと喜ばれ、不法投棄がなくなった。
- ・西3丁目以外の方も利用スタッフに参加いただき草刈り等環境整備に協力してもらった事で、少しずつ地域コミュニティが活性化してきました。
- ・ご自宅で不要となったレンガ・石等を譲り受け、公園の花壇やビオトープで再利用。この引き取りが意外と好評で、次年度以降も引取りを行い、リユースさせていただく。
- ・収穫祭(年間2回開催)や花の鑑賞会の開催予定
- ・子どもを対象にした体験学習等開催する。

事業実施団体

名称	天満台西3丁目自治会
所在地	宇陀市榛原天満台西3丁目6-8
設立の経緯・目的	本会会員相互の親睦と調和を図り、居住者協力のもとに地域の健全な発展に寄与することを目的として設立。
主な活動内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 居住者の良好な生活環境の維持向上に関する事</li> <li>2. 居住者の防災・防犯に関する事</li> <li>3. 天満台合同自治会、東榛原連合自治会、宇陀市連合自治会及び東榛原まちづくり協議会と連携し、地域の健全な発展及び親睦を図ること</li> <li>4. 会員相互扶助に関する事</li> <li>5. 会報、その他刊行物の発行</li> <li>6. 防犯灯の維持管理</li> <li>7. その他、目的達成に必要な事項</li> </ol>



# 伊勢街道をテーマとした地域間連携事業 【継続3年目】

補助金額  
300,000円

紀伊半島交流会議 伊勢街道分科会

## 補助事業の実施内容

1. ノルディックウォーキング体験会の開催「宇陀の佐吉石造物をめぐる」
2. 「宇陀の佐吉石造物」マップ制作 5000部
3. 案内板設置 3基
4. 街道と地域の歴史勉強会を実施

### 【事業実施の様子】



## 補助事業の成果と今後の活動に向けて

- ・ノルディックウォーキング体験会は、広報へのチラシ折り込みなどの効果で、参加者は41名と大変賑わった。地元の人にスタッフとして関わってもらい昼食時に豚汁の振る舞いをしたことが喜ばれ、良い交流の場ができました。(八滝～平井～古市場～宇陀松山)
- ・案内板については、地権者の方をはじめ、宇陀土木から協力をいただき、初瀬街道沿いに3基を設置することができました。(室生大野・三本松2基)
- 計画通り6年間で20基の案内板設置を終え「地域の魅力が良く判る」と街道を歩く人々から好評をえています。
- ・常夜灯へのソーラー照明設置と札の辻周辺での屋号札の制作など今後も継続して地域の方々と取り組みを行っていきたい。
- ・内牧まち協、室生地域事務所で街道と地域の歴史勉強会に参加。今後も各地域のまち協と協働の取り組みを展開したい。

### 事業実施団体

名称	紀伊半島交流会議 伊勢街道分科会
所在地	宇陀市大宇陀上新1925番地
設立の経緯・目的	「紀伊半島交流会議」は「吉野・熊野の霊場と参詣道」の世界遺産登録を見据えて、平成16年3月末に歴史街道推進協議会の呼びかけで結成されました。 その中で「伊勢街道分科会」は伊勢街道沿いの歴史や文化に触れ、そこに住む人々との交流を深めて、伊勢街道を軸としたネットワークの構築を目的として、宇陀市を中心に伊勢街道沿いで活動する人々に呼びかけて結成しました。
主な活動内容	1. 古道を歩き、道標や常夜燈、宿場町等の歴史的資産の調査 2. 情報発信のためのウォーキングイベントの開催 3. 平成19年からは、風景街道「伊勢街道」連絡協議会において中心的な役割を担い、フォーラムの開催やマップの作成を行う 4. 地域の団体と共に古道の復興や道標の再建など、街道の歴史的資産の保全活動をすすめる。